

地球科学輻合ゼミナール

(2010年度 後期 第3回)のご案内

地震の起こり方から探る 沈み込み帯のダイナミクス

久家 慶子

京都大学 理学研究科 地球物理学教室

沈み込み帯では、含水鉱物をもった海洋プレートが地球内部へ沈み込んでいる。沈み込みに伴ってプレートの温度圧力が上がり、含水鉱物の脱水反応が生じ水を放出することで、火山活動が生じたり、プレート内部で地震が起こったりしているといわれている。このダイナミクスを、沈み込み帯で発生する地震の起こり方から調べている。島弧火山の位置が決まる仕組みを地震の深さ分布の特徴から考える取り組み、脱水反応が予想される深さで起こった大地震の破壊過程のようすから見えてくるプレート内部の摩擦特性の不均質、脱水反応や応力状態との関係について紹介する。

11月10日(水) 午後4:30~午後6:00

場所: 理学研究科 6号館 303号室